

編集方針

当社は開業から一世紀にわたり、社会から信頼される企業を目指して地域に根ざした事業を展開してきました。

本報告書では、当社が事業活動を通じて「人々の暮らしを支え、よりよくするための取り組み」をどのように考え、推進しているかを報告しています。

今年度はより多様なステークホルダーから客観的な意見を取り入れるため、3カ所でステークホルダーダイアログを実施し、その内容も報告書内に掲載しています。

なお、本報告書は鉄道事業法により公表を義務づけられている「安全報告書」も兼ねており、安全に関する情報も充実させています。

■ 報告対象範囲

京阪電気鉄道株式会社の事業活動を報告対象としています。

※環境負荷データ、環境会計データは当社および株式会社京阪ビジネスマネジメント、株式会社京阪ステーションマネジメントを対象としています。
※一部のグループ会社のCSR活動も紹介しています。

■ 報告対象期間

平成23年度（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

※一部に平成23年度以前、24年度以降の取り組みを含んでいます。

■ 参考にしたガイドライン

- 環境報告ガイドライン（2007年度版）
- 環境会計ガイドライン（2005年度版）
- 民鉄事業環境会計ガイドライン（2008年度版）

■ 発行日

平成24年8月

■ 次回発行予定

平成25年8月

■ お問い合わせ先

京阪電気鉄道株式会社
経営統括室 経営政策担当 CSR報告書作成事務局
TEL：06-6944-2529 FAX：06-6944-2584

CSRとは >>>

「Corporate Social Responsibility」の略で、

「企業の社会的責任」という意味です。

企業の不祥事が多発する中、企業が顧客、地域社会、株主、従業員、地球環境など、周囲をとりまく利害関係者（ステークホルダー）とどう向き合っていくのか、ということが課題となっています。

CSR報告書は、企業のステークホルダーとのかかわりを開示することで、取り組みをご理解いただくとともに、自社の活動を検証するためのものです。

CONTENTS

| | |
|---------------------------|---|
| ブランドコンセプト／京阪電気鉄道株式会社 会社概要 | 2 |
| 編集方針／CONTENTS | 3 |
| ■ トップコミットメント | 4 |

京阪グループのCSR

| | |
|-------------------------------------|----|
| 京阪グループの経営理念体系 | 6 |
| 京阪グループのCSRへの考え方／経営理念／経営姿勢 | |
| 経営ビジョン「“選ばれる京阪”への挑戦」／行動憲章 | 7 |
| コーポレートガバナンス／CSR推進体制 | 8 |
| 経営理念の浸透／当社とステークホルダー／京阪ステークホルダーダイアログ | 10 |

安全への取り組み [安全報告書]

| | |
|-------------------------------|----|
| ■ 安全基本方針と安全管理体制 | |
| 安全基本方針／安全管理体制 | 13 |
| ■ 平成23年度の事故・障害等に関するご報告 | |
| 事故等の発生状況 | 15 |
| 平成23年度安全重点施策と進捗状況 | 16 |
| 平成24年度の安全重点施策の取り組みテーマ | 17 |
| ■ 安全管理体制の強化 | |
| 安全管理方法／訓練 | 18 |
| ヒヤリ・事故の芽活動／運転士の資質向上 | 20 |
| 技術の継承／KYT（危険予知トレーニング） | 21 |
| ■ 走行中の列車の安全性向上 | |
| 運行管理 | 22 |
| 脱線防止対策／併用軌道 | 23 |
| ■ 駅の安全性向上 | 24 |
| ■ 車両の安全性向上 | |
| 車両の安全対策／より快適な車両をめざして | 25 |
| ■ 踏切の安全性向上 | |
| 踏切での啓発活動／踏切道の推移 | 26 |
| 淀駅付近立体交差化工事 | 27 |
| ■ 火災・自然災害対策の推進（地震、風、雨など） | |
| 気象観測機器／耐震補強 | 27 |
| 早期地震警報システム／雨量監視システム | 28 |
| ／地下線の防災監視システム | |
| ■ その他の取り組み | |
| 鋼索線（男山ケーブル）の安全対策／ひらかたパークの安全対策 | 28 |
| ■ 平成24年度の安全投資について | |
| 安全投資／安全報告書へのご意見受付／京阪電車からのお願い | 29 |

社会への取り組み

| | |
|------------------------------|----|
| ■ お客さま満足のために | |
| お客さまの声にこたえて | 31 |
| よりやさしく便利な駅を目指して | 32 |
| バリアフリー化の取り組み／お客さまとのコミュニケーション | 33 |
| ■ 株主・投資家のために | 34 |
| ■ 地域社会のために | |
| 明日を担う世代のために | 35 |
| 地域社会とのコミュニケーション | 36 |
| ■ 従業員のために | |
| 働きやすくやりがいのある職場づくり | 38 |
| 安全衛生に関する取り組み | 39 |

環境への取り組み

| | |
|-----------------------------|----|
| 環境理念／環境方針／環境理念・環境方針の浸透 | 41 |
| 環境マネジメント／京阪グループの環境マネジメント | 42 |
| 環境負荷低減の目標と実績 | 43 |
| 事業活動に伴う環境負荷（マテリアルバランス） | 44 |
| 環境会計 | 45 |
| 地球温暖化防止の取り組み（鉄道電力の削減） | 46 |
| 地球温暖化防止の取り組み（公共交通利用促進） | 47 |
| 騒音振動低減の取り組み | 48 |
| リサイクルの取り組み | 49 |
| 大津線での取り組み／私たちが環境活動に取り組んでいます | |
| ■ 第三者意見／第三者意見を受けて | 50 |
| 京阪グループの概要／京阪グループネットワーク | 51 |
| ／京阪電車沿線案内図 | |